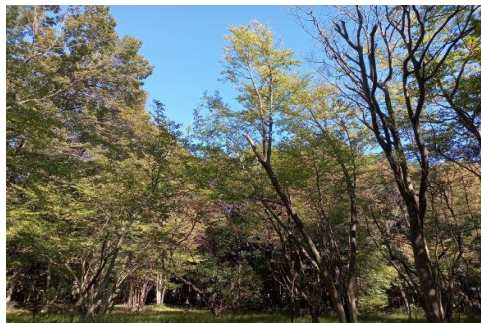


2022 森フェス in 川越

2022.11.19



ジョイフルの森

親子で一緒に歌おう

1. さんぽ～

となりのトトロ～君をのせて

歩こう歩こう わたしは元気
歩くの大好き どんどん行(い)こう
坂道 トンネル 草っぱら
いっぽん橋に でこぼこ砂利道
くもの巣くぐって 下り道

歩こう歩こう わたしは元気
歩くの大好き どんどん行(い)こう
ミツバチ ブンブン 花ばたけ
日なたにトカゲ ヘビは昼寝(ひるね)
バッタが飛んで 曲がり道

歩こう歩こう わたしは元気
歩くの大好き どんどん行(い)こう
キツネも タヌキも 出ておいで
探険(たんけん)しよう 林のおくまで
友だちたくさん うれしいな

となりのトトロ

トトロ トトロ トトロ トトロ
だれかが こっそり
小路に 木の実 うずめて
ちっさな芽 生えたら 秘密の暗号
森へのパスポート
すてきな冒険はじまる
となりのトトロ トトロ トトロ トトロ

森の中に むかしから住んでる
となりのトトロ トトロ トトロ トトロ
子供のときにだけ あなたに訪れる
不思議な出会い

雨ふり バス停
ズブヌレ オバケがいたら
あなたの雨ガサ さしてあげましょう
森へのパスポート

魔法の扉 あきます

となりのトトロ トトロ トトロ トトロ
月夜の晩に オカリナ吹いてる
となりのトトロ トトロ トトロ トトロ

君をのせて

あの地平線 輝くのは
どこかに君をかくしているから
たくさんの灯(ひ)が なつかしいのは
あのどれかひとつに 君がいるから
さあ でかけよう ひときれのパン
ナイフ ランプ かばんにつめこんで

父さんが残した熱い想い
母さんがくれたあのまなざし
地球はまわる君をかくして
輝く瞳きらめく灯(ともしび)
地球はまわる君をのせて
いつかきっと出会うぼくらをのせて

父さんが残した熱い想い
母さんがくれたあのまなざし
地球はまわる君をかくして
輝く瞳きらめく灯(ともしび)
地球はまわる君をのせて
いつかきっと出会うぼくらをのせて

2. ドレミの歌～

チム チム チェリー

ドはドーナツのド レはレモンのレ
ミはみんなのミ ファはファイトのファ
ソは青い空 ラはラッパのラ
シは幸せよ さあ歌いましょう

ドはドーナツのド レはレモンのレ
ミはみんなのミ ファはファイトのファ
ソは青い空 ラはラッパのラ シは幸せよ
さあ歌いましょう

ドレミファソラシド ドシラソファミレ
ドミミミソソ レファファラシシ
ドミミミソソ レファファラシシ
ソドラファミドレ ソドラシドレド

どんなときにも 列を組んで
みんな楽しく ファイトを持って
空を仰いで ランラ ララララー
幸せの歌 さあ歌いましょう
ドレミファソラシドソド

チム チム チェリー

チム チムニー チム チムニー
チム チム チェリー
わたしは煙突掃除屋さん
チム チムニー チム チムニー
チム チム チェリー
町いちばんのかほう者
みなさん聞いてくださいね

煙と灰を友として
一日はたらし続けても
広い広い世の中で
こんなのんきなことはない
チム チムニー チム チムニー
チム チム チェリー
町いちばんのかほう者
みなさん聞いてくださいね

わたしの住まいは 雲の中
煙りうずまく 煙突の
星に間近い てっぺんは
ロンドン塔より まだ高い
なんと素敵なのかな

チム チムニー チム チムニー
チム チム チェリー
わたしは煙突掃除屋さん
さあさ みんなで歌いましょう
ララララララ チム チム チェルー
チム チムニー チム チム
チェリー チム チェルー

3. 翼をください～ゆかいに

歩けば～手のひらを太陽に

一、いま私の 願いごとが
かなうならば 翼(つばさ)がほしい
この背中に 鳥のように
白い翼 つけてください

この大空に 翼をひろげ
飛んで行(ゆ)きたいよ
悲しみのない 自由な空へ
翼はためかせ行きたい

二、いま 富とか名誉ならば
いらないけど 翼がほしい
子供のとき夢みたこと
今も同じ夢に見ている

この大空に翼を広げ
飛んで行(ゆ)きたいよ
悲しみのない 自由な空へ
翼はためかせ行きたい

ゆかいに歩けば

ゆかいに歩けば うたもはずむ
おひさまきらきら 風も青い
バルデリー バルデラー バルデロー
バルデロ ホホホ ホホ バルデリ
行こう ゆかいな旅

谷間の小川が話しかける
君たちどこまで 歩くのかね
バルデリー バルデラー バルデロー
バルデロ ホホホ ホホ バルデリー
行こう あかるい道

みどりのこかげで ひるねをすりゃ
小鳥がおいでと むかえにくる

パルデリー パルデラー パルデロー
パルデロ ホホホ ホホ パルデリー
行こう 森の丘に

手のひらを太陽に

ぼくらはみんな 生きている
生きているから 歌うんだ
ぼくらはみんな 生きている
生きているから 歌うんだ
手のひらを太陽に すかしてみれば
まっかに流れる ぼくの血潮(ちしお)
ミミズだって オケラだって
アメンボだって
みんな みんな生きているんだ
友だちなんだ

ぼくらはみんな 生きている
生きているから 笑うんだ
ぼくらはみんな 生きている
生きているから うれしいんだ
手のひらを太陽に すかしてみれば
まっかに流れる ぼくの血潮(ちしお)
トンボだって カエルだって
ミツバチだって
みんな みんな生きているんだ
友だちなんだ

ぼくらはみんな 生きている
生きているから おどるんだ
ぼくらはみんな 生きている
生きているから 愛するんだ
手のひらを太陽に すかしてみれば
まっかに流れる ぼくの血潮(ちしお)
スズメだって イナゴだって
カゲロウだって
みんな みんな生きているんだ
友だちなんだ

4. もみじ〜

赤とんぼ〜まっ赤な秋〜どんぐり
ころころ〜大きな栗の木の下で〜
小さい秋みつけた

- 一、秋の夕日に照る山紅葉(やまもみじ)
濃(こ)いも薄いも数ある中に
松をいろどる楓(かえで)や蔦(つた)は
山のふもとの裾模様(すそもよう)
- 二、溪(たに)の流(ながれ)に散り浮く紅葉
波にゆられて離れて寄って
赤や黄色の色様々に
水の上にも織る錦

赤とんぼ

夕焼小焼の 赤とんぼ
負われて見たのは いつの日か
山の畑の 桑(くわ)の実を
小籠(こかご)に摘んだは まぼろしか

十五で姐(ねえ)やは 嫁に行き
お里のたよりも 絶えはてた
夕焼小焼の 赤とんぼ
とまっているよ 竿(さお)の先

まっ赤な秋

- 一、まっかだな まっかだな
ツタの葉っぱが まっかだな
もみじの 葉っぱも まっかだな
沈む 夕日に てらされて
まっかなほったの 君と僕
まっかな秋に かこまれている
- 二、まっかだな まっかだな
カラス瓜(うり)って まっかだな
とんぼのせなかも まっかだな
夕焼雲(ゆうやけぐも)を ゆびさして
まっかなほったの 君と僕
まっかな秋に よびかけている
- 三、まっかだな まっかだな
ヒガン花(はな)って まっかだな
遠く(とほ)の たき火(ひ)も まっかだな
お宮(みや)の 鳥居(い)を くぐりぬけ
まっかなほったの 君と僕
まっかな秋を たずねてまわる

どんぐりころころ

どんぐりころころ ドンブリコ
お池にはまって さあ大変
どじょうが出て来て 今日(けふ)は
坊ちゃん一緒に 遊びましょう

どんぐりころころ よろこんで
しばらく一緒に 遊んだが
やっぱりお山(やま)が 恋しいと
泣いてはどじょうを 困らせた

大きな栗の木の下で

- 一、大きな栗の木の下で
あなたとわたし
仲よく遊びましょう
大きな栗の木の下で
- 二、大きな栗の木の下で
お話しましょう
みんなで輪(わ)になって
大きな栗の木の下で
- 三、大きな栗の木の下で
大きな夢を
大きく育てましょう
大きな栗の木の下で

小さい秋みつけた

- 一、誰(たれ)かさんが 誰(たれ)かさんが
誰(たれ)かさんが みつけた

ちいさい秋 ちいさい秋
ちいさい秋 みつけた
めかくし鬼(おに)さん 手のなる方(かた)へ
すましたお耳(みみ)に かすかにしみた
よんでる口笛(くちふえ) もずの声
ちいさい秋 ちいさい秋
ちいさい秋 みつけた

- 二、誰(たれ)かさんが 誰(たれ)かさんが
誰(たれ)かさんが みつけた
ちいさい秋 ちいさい秋
ちいさい秋 みつけた
お部屋(おへや)は北向(きたむか)き くもりのガラス
うつろな目の色 とかしたミルク
わずかなすきから 秋(あき)の風
ちいさい秋 ちいさい秋
ちいさい秋 みつけた

- 三、誰(たれ)かさんが 誰(たれ)かさんが
誰(たれ)かさんが みつけた
ちいさい秋 ちいさい秋
ちいさい秋 みつけた
むかしの むかしの 風見(ふうみ)の鳥(とり)の
ほやけたとき(とき)に はぜの葉(は)ひとつ
はぜの葉(は)あかくて 入(い)り日(ひ)色
ちいさい秋 ちいさい秋
ちいさい秋 みつけた

5. 虫のこえ〜

とんぼのめがね〜ことりのうた

- 一、あれ松虫(まつむし)が 鳴(な)っている
ちんちろちんちろ ちんちろりん
あれ鈴虫(すずむし)も 鳴(な)き出した
りんりんりんりん りいりんりん
秋(あき)の夜長(よなが)を 鳴(な)き通(とお)す
ああおもしろい 虫(むし)のこえ
- 二、きりきりきりきり きりぎりす
がちゃがちゃがちゃがちゃ くつわ虫(くつわむし)
あとから馬(うま)おい おいついて
ちょんちょんちょんちょんすいっちょん
秋(あき)の夜長(よなが)を 鳴(な)き通(とお)す
ああおもしろい 虫(むし)のこえ

とんぼのめがね

とんぼの めがねは 水(みづ)いろ めがね
青(あお)いおそらを とんだから とんだから

とんぼの めがねは びか びか めがね
おてんとさまを みてたから みてたから

とんぼの めがねは 赤(あか)いろ めがね
夕焼(ゆふ焼)け雲(くも)を とんだから とんだから

こぎつね

こぎつねコンコン
やまのなか やまのなか
くさのみつぶして おけしょうしたり

もみじのかんざし つげのくし

こぎつねコンコン
ふゆのやま ふゆのやま
かれはのきものじゃ めうにもぬえず
きれいなもようの はなもなし

こぎつねコンコン
やまのなか やまのなか
くさのみつぶして おけしょうしたり
もみじのかんざし つげのくし

こぎつねコンコン
ふゆのやま ふゆのやま
かれはのきものじゃ めうにもぬえず
きれいなもようの はなもなし

ことりのうた

ことりはとっても うたがすき
かあさんよぶのも うたでよぶ
びびびびび ちちちちち
びちくりびい

ことりはとつても うたがすき
とうさんよぶのも うたでよぶ
びびびびび ちちちちち
びちくりびい

6. パブリカ～Believe～

勇気 100%～365 日の紙飛行機

曲りくねり はしゃいだ道
青葉の森で駆け回る
遊びまわり 日差しの街
誰かが呼んでいる

夏が来る 影が立つ あなたに会いたい
見つけたのはいちばん星
明日も晴れるかな

パブリカ 花が咲いたら
晴れた空に種を蒔こう
ハレルヤ 夢を描いたなら
心遊ばせあなたにとどけ

雨に濡り 月は陰り
木陰で泣いてたのは誰
一人一人 慰めるように
誰かが呼んでいる

喜びを数えたら あなたでいっぱい
帰り道を照らしたのは
思い出のかげぼうし
パブリカ 花が咲いたら
晴れた空に種を蒔こう
ハレルヤ 夢を描いたなら
心遊ばせあなたにとどけ

会いに行くよ 並木を抜けて
歌を歌って
手にはいっぱい の 花を抱えて

らるらりら

会いに行くよ 並木を抜けて
歌を歌って
手にはいっぱい の 花を抱えて
らるらりら

パブリカ 花が咲いたら
晴れた空に種を蒔こう
ハレルヤ 夢を描いたなら
心遊ばせあなたにとどけ
かかと弾ませこの指とまれ

Believe(ビリーブ)

一、たとえば君が 傷ついて
くじけそうに なった時は
かならずぼくが そばにいて
ささえてあげるよ その肩を
世界中の 希望のせて
この地球は まわってる
いま未来の 扉(とびら)を開けるとき
悲(かな)しみや 苦(くる)しみが
いつの日か 喜びに変わるだろう
I belive in future
(アイ ビリーブ イン フューチャー)
信じてる

二、もしも誰かが 君のそばで
泣き出しそうに なった時は
だまって腕を とりながら
いっしょに歩いて くれるよね
世界中の やさしさを
この地球を つつみたい
いま素直な 気持ちになれるなら
憧(あこが)れや 愛(いと)しさが
大空に はじけて耀(ひか)るだろう
I belive in future
(アイ ビリーブ イン フューチャー)
信じてる

勇気 100%

がっかりして めそめそして
どうしたんだい
太陽みたいに笑う
きみはどこだい

やりたいこと やったもん勝ち
青春なら
つらいときはいつだって
そばにいるから

夢はでくなけりゃ
つまらないだろう
胸をたたいて
冒険しよう

そうさ 100%勇気 もうがんばるしかないさ
この世界中の元氣 抱きしめながら

そうさ 100%勇気 もうやりきるしかないさ

ぼくたちが持てる輝き 永遠に忘れないでね

ぶつかったり 傷ついたり
すればいいさ
HEART が燃えているなら
後悔しない

じっとしてちゃ はじまらない
このときめき
きみと追いかけてゆける
風が好きだよ

昨日 飛べなかった
空があるなら
いまあるチャンス
つかんでみよう

そうさ 100%勇気 さあ飛び込むしかないさ
まだ涙だけで終わる ときじゃないだろう

そうさ 100%勇気 もうふりむいちゃいけない
ぼくたちはぼくたちらしく
どこまでも駆けてゆくのだ

たとえさみしすぎる
夜が来たって
新しい朝
かならずくるさ

そうさ 100%勇気 もうがんばるしかないさ
この世界中の元氣 抱きしめながら

そうさ 100%勇気 もうやりきるしかないさ
ぼくたちが持てる輝き 永遠に忘れないでね

365 日の紙飛行機

朝の空を見上げて 今日という一日が
笑顔でいられるようにそっとお願いした
時には雨も降って 涙も溢(あふ)れるけど
思い通りにならない日は 明日頑張ろう

ずっと見ている夢は 私がもう一人いて
やりたいこと 好きなように
自由にできる夢

人生は紙飛行機 願い乗せて飛んで行くよ
風の中を力の限り ただ進むだけ
その距離を競(きそ)うより
どう飛んだか どこを飛んだのか
それが一番 大切なんだ
さあ 心のままに 365 日

星はいくつ見えるか 何も見えない夜か
元氣が出ない そんな時は 誰かと話そう
人は思うよりも 一人ぼちじゃないんだ
更多更詳盡歌詞 在
※ Mojim.com 魔鏡歌詞網
すぐそばのやさしさに気づかずにいるだけ

人生は紙飛行機 愛を乗せて飛んでいるよ
自身持って広げる羽根を
みんなが見上げる
折り方を知らなくても

いつのまにか飛ばせるようになる
それが希望 推進力だ
ああ 楽しくやろう 365 日

人生は紙飛行機 願い乗せて飛んで行くよ
風の中を力の限り ただ進むだけ
その距離を競(きそ)うより
どう飛んだか どこを飛んだのか
それが一番 大切なんだ
さあ 心のままに 365 日

飛んでいけ！ 飛んでみよう！
飛んでいけ！ 飛んでみよう！
飛んでいけ！

川越を歌おう
自然を歌おう

7. Mr. スイートポテト

作詞・作曲小林範子

一、Mr. スイートポテト ぼくはさつまいも
南の国 から やってきた
食べものの 王様

江戸の飢饉にも 大活躍
安くてうまい ファーストフード
ベニアカ ベニはるか
シルクスウィート
みんな兄弟

Mr. スイートポテト いまは「トキモ」
栗よりうまい 13 里
With huffing and Puffing
Please try one! Try One!

二、Mr. スイートポテト ぼくはさつまいも
南の国 から やってきた
食べものの 王様

チョコもアイスも ライバルだけど
ゴディバに負けない ゴジラだぞ
いもせんべい いもビール
いもアイスクリーム
みんな兄弟

Mr. スイートポテト いまは「スイーツポ
テト」
ふうふう言って 食べてね
With huffing and Puffing
Please try one! Try One!

川越伝説による
新わらべうた

8. 河童の伊勢まいり

作詞寺島悦恩・作曲小林範子

一、カッパ カッパ カッパカバア
カッパ カッパ カッパカバア

(三部輪唱 くりかえし)
おいらは小畔(こあぜ)の 小次郎河童
いたずら好きの 川の主(ぬし)
仲よしこよしの 三匹で
お伊勢まいりと しゃれこんだ
カッパ カッパ カッパカバア
(くりかえし)

二、カッパ カッパ カッパカバア
カッパ カッパ カッパカバア
(三部輪唱 くりかえし)
おいらは伊草の 袈裟坊(けさぼう)河童
しっかり者の 川の主
たにしのふたに 術(じゅつ)をかけ
小判にみせて ふるまった
カッパ カッパ カッパカバア
(くりかえし)

三、カッパ カッパ カッパカバア
カッパ カッパ カッパカバア
(三部輪唱 くりかえし)
おいらは小沼(こぬま)の かじ坊河童
ひょうきん者の 川の主
いんちきばれて 逃げかえり
二度と旅など 出なかった
カッパ カッパ カッパカバア
(くりかえし)

9. よりみち八幡みんぶいなり

作詞寺島悦恩・作曲小林範子

一、虹の向こうの八王子 民部さまのお屋敷に
毎晩出かける 小坊主しんぼち
二、あんなところお寺があったかな
それでもおしょうさんはお礼に
ごちそういっぱいおもてなし
民部さまをおまねき

ご利益(りやく)いっぱい民部さま
ぼんしん山川越へ
はちまんえんまん きらりきらり
コンコンカップルご成婚

三、民部さまはごきげん
ひとつ相撲でもとろうかな
強かったあら勝った また勝った民部さま
四、いちようの下の民部さま
いちようの葉っぱもきらきら
大判小判もきらきら
花手水(ちようず)には てまり花

ご利益(りやく)いっぱい民部さま
ぼんしん山川越へ
はちまんえんまん きらりきらり
コンコンカップルご成婚

10. 九十川 (くじゅうがわ)

作詞寺島悦恩・作曲小林範子

南古谷を 流れる川は
どうして そうして 呼ばれたの

南古谷を 流れる川は
どうして そうして 呼ばれたの
くねくね曲がって 曲がって九十も
曲がって くねった 川だから

くねくね曲がって 曲がって九十も
曲がって くねった 川だから

11. 虹の玻璃(ちきゅう)

作詞寺島悦恩・作曲小林範子

一、時は止まった
人影も凍る街
嘆きの星
The earth can be beautiful again

吹きすさぶ風に
舞い散る灰色の雪
ともしびの森
The earth can be beautiful again

かろやかに鳥が 笑いかける花
輝ける森が 語りかける朝

二、オリオン遙かに
よみがえれ夢の星
虹の玻璃(ちきゅう)
The earth can be beautiful again

青い空と
水と風のふるさと
天の箱舟
The earth can be beautiful again

かろやかに鳥が 笑いかける花
輝ける森が 語りかける朝

市制 100 周年記念
川越のうた

12. あなたからわたしへ

作詞今井レイ・作曲小林範子

一、まつりばやしが きこえるこのまちで
あなたがみたゆめ わたしがみるゆめ
えがおのまち やさしいかわごえ
えがおのまち やさしいかわごえ

二、しずかなときが ながれるこのまちで
あなたがあるいた わたしがあるく
れきしのまち うけつぐかわごえ
れきしのまち うけつぐかわごえ

三、ひかるみらいが ほほえむこのまちで
あなたがいた わたしがいきる
しあわせなまち なつかしいかわごえ
しあわせなまち なつかしいかわごえ

しあわせなまち なつかしいかわごえ

